

一步一步 人材確保 自助努力

県内経済3団体トップ、抱負と展望



「景気、緩やかに回復」

県商工会議所連合会、県経営者協会、県経済同友会の県内経済3団体トップが15日、岐阜市でそろって年頭の記者会見を開いた。円高株安の進行、中国の景気減速、北朝鮮の核実験など波乱含みでスタートした2016年。各トップが今年の基本方針を語るとともに、県内経済の展望や意気込みを漢字1文字で表した。

(山田孝二)

県商工会議所連合会の村瀬幸雄会長は、今年の経済について「年初から波乱があるが、県内経済は緩やかな回復傾向が見込まれる」と展望。「伴走型の活動をしっかり行い、地元の仕事を作っていく」と、観光振興や創業支援、雇用創出などに注力する考えを強調した。漢字は「歩」を挙げ、「一步一步地に足を着けて進む。歩んでいくと金になる」とし、色紙の裏に貼った金色の紙を見せた。県経営者協会の小野木孝二会長も「足元の景気は回復しつつある」との認識。課題は人材確保とし、漢字も「人」を掲げた。「人が採れる会社と採れない会社が分かれる」と、引き続き堅調に推移すると展望。自動車需要は「米国は順調だが、中国や東南アジア諸国連合(ASEAN)は動きが鈍っている」とし、市場を活性化させる新技術の登場に期待した。サ

ンメッセの田中良幸会長は、岐阜グランドホテルの会社で大きな差が出てくる。『人』が大きなテーマになってくる」と説明。「女性、高齢者、若い人の生産性を上げることが求められる年になる」とし、

「景気や株価に一喜一憂しない」と述べ、漢字の「自」を示して自助努力や自己責任の重さを強調した。提言に、会員企業には「新活動ではやるべきことをやり、言わばいいビジネスモデルを作っていくべき」とを言う、そんな活動と求めた。

経営者の見方

中国経済懸念、激動の年に訪日客増加、観光業が成長

長は「年明け早々心配の種はあるが、自動車を中心に製造業がけん引し、後に晴れるのでは」と捉える。深刻化する人材不足は、日本経済の動向は多い。パロホルデ的要因によるところが多いとし、「国内は順調だが、中国経済が不安定な経営課題」と良くない。リーマン・ショックのようなことルディングスの田口義が起きる可能性もあ対応が今年のかきと慎重な姿勢。フェザリ、「人の生産性をい安全剃刀の後藤雄介に上げるかが、成長会長は「今年は激動の年となる。株の急と力を込める。県経営落、中国経済の失速な者協会の小野木孝二会長は「労働生産性の低下があり、先行きが不安だ」と述べた。

一方、訪日外国人旅行客増加などを背景に、来年4月からの消費成長が期待される観光税増税を控え、大光の産業。下呂温泉・水明館金森武社長は「駆け込の龍康洋社長は「下呂温泉では先行予約が消費の活性化に期待し内外とも順調。毎月のたい」と語った。